

福島大学

人間発達文化学類
特別支援・生活科学コース

こども保育コース

Q. 編入を考えたのは、いつからでしたか？また、その理由を教えてください。

高校の時に福島大学を目指していましたが、共通テストの結果が思ったように出せず点数的に受験することができなかったため、短期大学に入って編入することを周囲に勧められ考えるようになりました。

Q. 編入までのプロセスを具体的に教えてください。

1年生の10月頃から小論文の過去問に取り組み始めました。2年生になってからは入試情報を定期的に確認し、募集要項を入念に読み込みました。2年生の夏休み前には成績証明など必要な書類を申請、出願準備を始めました。

Q. 編入のための学習指導は、いつから、どのような形で行われましたか。

学習指導は1年生の後期から始まりました。小論文は、こども保育コースの先生方が週替わりで順次課題文を出してくださり、ご指導いただきました。英語は、アカデミック英語の授業と保育コースの授業が重なってしまったので、空いているコマに個別で授業を受けました。

Q. 編入対策で努力したことは何ですか。具体的にどのような勉強をいつからしましたか。

私は英語が一番苦手だったので1年生の時から電車で単語を覚えたり、高校の時に大学受験で使ったテキストで繰り返し勉強しました。また、記述式の問題に対応できるよう英文を一文ずつ訳し、わからない文法や単語は調べながら勉強を進めました。小論文については、自分の意見を文章にすることがなかなか難しく苦労しましたが、1年生の後期から始まった小論文対策のお陰で、構成を考えながら書くことが少しずつできるようになったと思います。

Q. 編入対策において、先生のアドバイスで役に立ったことを教えてください。

「面接では、自分が伝えたいことのキーワードを覚えてそのキーワードを自分なりに文章にして伝えられると良い」「志望する学科の先生の論文や著書を読むと良い」とアドバイスいただいたことです。面接は、練習の時から緊張で頭が真っ白になり、何も話せなくなっていました。このアドバイスのお陰で、本番でも予想していなかつ

た質問にも自分なりに答えることができました。

Q. 編入対策において、聖母の学びで力になったことはどんなことですか。

5回にわたる実習の授業です。たくさんの気づきや学びがあり、ここで得た体験を編入後の学びに繋げて考えることができ、志望理由書を書く際にも問題なく書くことができました。

- ① 大学（短大）受験の時の気持ち・②短大入学後（学生生活）の気持ち・③編入試験前の気持ち・④合格後の気持ちを 教えてください。
- ① 保育コースの一般受験が自分一人だけだったのでとても緊張しました。
- ② 「友達ができるか」など不安なこともありましたが、徐々に楽しく短大生活が送れるようになりました。
- ③ 試験の日が近づいてくると「今頃みんな勉強しているんだろうな」と思うようになり、気持ちが焦りました。
- ④ まさか自分の番号があるとは思っていなかったので、驚いた気持ちと喜びの気持ちの両方でした。

Q. これから桜の聖母短大に入学する、または桜の聖母短大から編入を目指す後輩に伝えたいことは何ですか。

こども保育コースでは、授業内や実習での実践を通して保育者としての力を身に付けられると思います。同じ目標を持つ仲間同士、協力し合いながら知識を増やしていくことができます。また、先生との距離が近く、学びやすい環境が整っていると思います。編入対策については、先生方が学生の気持ちに寄り添ってご指導してください。実習期間中は勉強する時間がなかなかとれず焦ることもありましたが、実習を通して短大での学びに自信を持つことができましたし、小論文の中で具体例を示せることにもつながり、編入後の学びの目標を明確に持つことができるようになりました。大きな強みになったと思います。編入に向けての勉強は辛いことも多いと思いますが、最後まで諦めずに頑張ってください！